

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 循環器系病棟で行う、薬剤師の糖尿病療養指導について |
| 研究機関名 | 武蔵野赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 薬剤部 氏名 宮前 玲子 |
| 研究期間 | (西暦) 2023年 7月 ~ (西暦) 2023年 8月 |
| 研究の意義・目的 | 担当する、循環器・心臓血管外科の病棟には、心疾患（心筋梗塞・心不全・不整脈等）の治療、心臓の手術（動脈瘤・弁膜症・バイパス術等）を目的の患者が入院してくるが、その中には、糖尿病を合併していたり、未治療や治療中断の糖尿病患者が少なくない。循環器系病棟で、薬剤師が行っている業務・糖尿病療養指導について「第11回 日本くすり」と糖尿病学会学術集会」で発表を予定する。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | 平均在院日数が10日を切る当院で、病棟担当薬剤師の業務として、入院中の薬の管理・服薬状況の確認等を行い、主目的の治療を行いながら、糖尿病の療養指導を並行して行うのは容易ではない。これまでに、薬剤師が行った服薬指導・糖尿病療養指導について、カルテ・服薬指導記録を元に、2名の症例も提示して、紹介する。 |
| ①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用または提供を開 始する予定日 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称 | ① 日本には、950万人の糖尿病患者がいると言われ、糖尿病予備群も含めると、2050万人にのぼると推計され、当院でも、糖尿病を持って入院してくる患者が少ない。 今回、循環器系の病棟で薬剤師が行った糖尿病療養指導について発表することで、他の病棟でも今後の業務に活かせていけると考える。 研究実施に係る情報を取扱う際は、研究独自の番号を付して匿名化し、研究対象者の秘密保護に十分に配慮する。あわせて研究独自の番号と研究対象者の個人情報との対応表を作成して保管する。研究の結果を公表する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないよう十分注意する。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。 ② 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、使用薬剤 血液検査結果 (HbA1c、血糖値、血清クレアチニン、血清脂質値) 服薬指導内容 ③ 2023年7月～2023年8月 ④ 研究責任者 宮前玲子 ⑤ 武蔵野赤十字病院 院長 泉並木 |
| 問合せ先 | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 宮前 玲子 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525 |